

4月11日 金子みすゞ生誕100年記念式典

4月11日、ルネッサながとで開かれた「金子みすゞ生誕100年記念式典」には市民や全国各地から訪れたファンなど約600人が参加してみすゞの生誕100年を祝いました。

式典では、松林市長が「みすゞさんをわがまちの誇りとして、彼女の詩の中にあるまちづくりのキーワードを受け継ぎ実践していく、スタートの年としたい」とあいさつしました。

河村建夫文部科学副大臣や二井関成典知事などの祝辞に続き、金子みすゞの長女、上村ふさえさんが「立派な記念館ができ、空のかなたの母も喜んでいてることでしょ」と感謝の言葉を述べました。



祝金子みすゞ生誕100年記念式典

式典終了後は、TBSプロデューサーの石井ふく子さんと女優の池内淳子さんが金子みすゞ記念館の矢崎節夫館長の進行で記念対談を行い、ドラマや舞台などで触れた金子みすゞに対する思いなどを話しました。石井さんの製作・演出で、池内さん主演による舞台劇「空のかあさま」は今年11月、ルネッサながとで上演されます。

また、会場では「みすゞのうたコンサート」も開かれ、声楽家の松倉とし子さんが、故中田喜直さん作曲の「星とたんぼぼ」「大漁」などを歌い、会場から大きな拍手が送られました。



ふるさと切手贈呈式 「みすゞとふるさと長門」

式典中、4月11日から全国一斉に発売となったふるさと切手の贈呈式があり、日本郵政公社の森隆政中国支社長から、二井県知事と松林市長、原画作者の尾崎眞吾さんに贈呈状が手渡されました。



4月11日 JR美祿線に「金子みすゞ号」 JR仙崎駅で歓迎セレモニー

金子みすゞの生誕100年を記念してJR美祿線を走る快速「金子みすゞ号」が4月11日から運行を開始し、第1便が午前9時53分に厚狭駅を出発しました。第1便が10時59分に到着した仙崎駅では、松林市長をはじめ観光協会などの関係者が約200人の乗客を迎え、歓迎セレモニーが行われました。

みすゞ号は2両編成で、市内在住のイラストレーター尾崎眞吾さんがデザインしたみすゞの詩をモチーフにした絵が車両いっぱい描かれています。



仙崎駅に到着した「金子みすゞ号」の歓迎セレモニー

4月11日 向陽小学校で「みすゞコンサート」

4月11日、向陽小学校で松倉とし子さんと鹿島武臣さんによるコンサートが開催されました。

2人は児童95人を前に、楽しい会話を交え「私と小鳥と鈴と」など16曲をデュエットしました。



3月31日 建設基金を寄付 金子みすゞ顕彰会

3月31日、金子みすゞ顕彰会の黒瀬治郎会長が市役所を訪れ、松林市長に金子みすゞ記念館建設基金100万円の目録を手渡しました。基金は顕彰会とスペースみすゞコスモスが、全国のみすゞファンに呼びかけて募金したものです。

